

深谷市立川本北小学校

7月1日 全校朝会

# 川本北小学校 今年度が 開校125年目

開校125周年記念樹  
多羅菜の木  
平成元年 十月吉日

勤検力行

この二家命が御座に記されている  
字句がなほ  
「まじゆに書置、つづあしやかに  
し、一語一語のすまひ」です。

みんなのすんでいるところ

深谷市 **ふかやし**  
FUKAYA CITY

どんな人がいたのかな？

## 世界文化遺産登録！ 『富岡製糸場と絹産業遺産群』

富岡製糸場

**深谷市**  
(ふかやし)

富岡製糸場にかかわる  
いじん  
**3 偉人**を出した。



いじん  
**3 偉人**とは？

①



しibusawa えいいち  
**渋沢栄一**

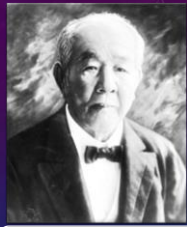
1840年(今から174年前)  
深谷市血洗島の農家に生まれた。<江戸時代>  
小さいときから家の手伝いをし、勉強をした。  
7歳の時、いとこの尾高惇忠(おだか じゅんちゆう)のもとに学問を習いに通った。

わかいころ  
フランスに行ったころ

27歳の時、フランスに行き、約1年間ヨーロッパの新しいことを学んで帰ってきた。

30歳の時、富岡製糸場 設置主任となった。




渋沢 栄一 (しibusawa えいいち) が行ったこと

- 第一国立銀行をはじめ、500もの会社の設立に関わった。
- 600もの教育機関・社会公共事業の支援と民間外交に取り組んだ

● 夢七訓

- ・夢なき者は 理想なし
- ・理想なき者は 信念なし
- ・信念なき者は 計画なし
- ・計画なき者は 実行なし
- ・実行なき者は 成果なし
- ・成果なき者は 幸福なし
- ・ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず



夢とこそざし  
まごころと思いやり

②

おだか じゅんちゆう  
**尾高惇忠**

天保元年(1830)深谷市下手計に生まれた。栄一のいとこであり、学問の師でもある。

官営富岡製糸場建設に計画当初から携わり、初代場長を務めた。建設資材の調達に尽力し、工女の募集に至っては自ら範を示すため、娘のゆうを伝習工女第一号として入場させ、工女の教育を熱心に行った。

③

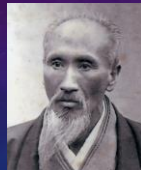
にらづか なおじろう  
**荑塚直次郎**

文政6年(1823)、深谷市明戸に生まれた。富岡製糸場の建設において資材の調達のまとめ役を務めた。主要な建築材料の煉瓦もまだその製造方法もわかっていない中、直次郎は明戸の瓦職人たちを束ね、試行錯誤の末、煉瓦を焼き上げることに成功した。また、下手計の堀田鷲五郎も煉瓦を接着するためのモルタルを考案するなど、富岡製糸場の建設においては、深谷の人々が様々なところで活躍した。

## 深谷の3偉人



渋沢栄一



尾高惇忠



荻塚直次郎

深谷市には  
ほかにどんな人  
がいたろう？  
いるだろう？



4

畠山 重忠



畠山重忠は、平安時代末期から鎌倉時代初期の武將。鎌倉幕府の有力御家人。源頼朝の挙兵に際して当初は敵対するが、のちに臣従して治承・寿永の乱で活躍。知勇兼備の武將として常に先陣を務め、幕府創業の功臣として重きをなした。しかし、頼朝の没後に実権を握った初代執権・北条時政の謀略によって謀反の疑いをかけられて子とともに討たれ(畠山重忠の乱)、子孫は名字を変えた。存命中から武勇の誉れ高く、その清廉潔白な人柄で「坂東武士の鑑」と称された。

5

生沢クノ(1864-1945)



生沢 クノ

生沢クノは、元治元年(1864)に武蔵国榛沢郡深谷宿(現在の深谷市仲町)に生まれた、日本で2番目の女医です。

6

北川千代(1894-1965)



北川 千代

北川千代は、大正から昭和期を代表する児童文学作家です。明治27年(1894)に榛沢郡大寄村(現在の深谷市上敷免)の日本煉瓦工場内の社宅で生まれました。煉瓦工場や小山川の土手などを舞台とした「雪の日」「らっきょう」「汽車の婆の話」には、自叙伝としての深谷の思い出が描かれています。

7


尾高ゆう(1858頃-1923)



尾高 ゆう

尾高ゆうは、官営富岡製糸場の第1号の伝習工女として操業に携わり、日本の近代化に大きく貢献しました。ゆうは、武蔵国榛沢郡下手計村(現在の深谷市下手計)出身の尾高惇忠の娘として、安政5年(1858)ごろに生まれました。父の惇忠は、地元でも有名な学者、教育者であり、渋沢栄一翁も惇忠に学ぶほど、深く尊敬されていました。惇忠は、明治3年に、官営富岡製糸場長となります。

深谷市にいた人について、もっと調べてみよう！



さいごに  
いつもの  
あいことば




気持ちのよいあいさつとは

- しっかり顔(かお)を向(む)ける
- 笑顔(えがお)、「にこっ」
- 礼(れい)、「ぺこっ」
- 元気でさわやかな声

いつもしっかり  
できてるまねか？


残念(ざんねん)なこと  
悲(かな)しいこと



- ▼こちらを向いてくれない子
- ▼声を出さない子

自分から  
「大きな声で言うぞ」  
「気持ちのよい  
あいさつをするぞ」  
という気持ちがなければ  
できない。

明日から  
日本一の  
あいさつを



にこっ ぺこっ げんき 元気よく

